

# 建築構造物・地盤連成系の三次元有限要素モデルによる 大規模解析

大阪大学大学院工学研究科附属フロンティア研究センター 橋英三郎

---

## 目的:

超高層構造物の地震時における動的挙動については、従来は簡略化された串団子型のモデルを用いて計算がなされている。本研究では、次世代型スーパーコンピュータの利用により、建築構造物を周辺地盤や杭なども含め、さらに鉄筋の一本一本までもできるだけ忠実にFEMでモデル化を行い、その解析結果より、より合理的な耐震設計手法を構築する。

## 内容および結果:

大阪大学サイバーメディアセンターと地球シミュレータを有する海洋研究開発機構(JAMSTEC)とのネットワーク連携利用により、これまでに多くの成果を得ているが、平成23年度の利用実績はない。

(神戸の「京」コンピュータと大阪大学サイバーメディアセンターとのネットワーク連携を期待している。)